

| 定量評価 | | | | | | | |
|------------------|----|-------|-------|--------|---------|---------|---------|
| 指標1 | | 単位 | H18年度 | H19年度 | H20年度 | H21年度 | H22年度 |
| 講演会参加者数、個別相談者数 | 目標 | 人 | 80 | 80 | 80 | 80 | 80 |
| | 実績 | 人 | 84 | 52 | | | |
| 年間経費(事業費・人件費の合計) | | 千円 | 2,483 | 2,299 | 1,899 | | |
| 単位当たり経費 | | 千円/単位 | 30 | 44 | #DIV/0! | #DIV/0! | #DIV/0! |
| 単位当たり経費変動率 | | % | | 149.6% | #DIV/0! | #DIV/0! | #DIV/0! |

| 指標2 | | 単位 | H18年度 | H19年度 | H20年度 | H21年度 | H22年度 |
|------------------|----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 目標 | % | | | | | |
| | 実績 | % | | | | | |
| 年間経費(事業費・人件費の合計) | | 千円 | | | | | |
| 単位当たり経費 | | 千円/単位 | | | | | |
| 単位当たり経費変動率 | | % | | | | | |

| 定性評価 | | |
|--|--|--|
| 過年度の実施内容 | | |
| 医療相談会 | 開催日時 会 場 講 演 会 個別相談 託児室 併設 | 平成20年2月2日(土) 午後1時30分～ 福祉交流センター(中区) 演題「アトピー性皮膚炎と上手につきあうために」、皮膚科医師 参加者 36人 小児科医師、呼吸器内科医師、皮膚科医師、管理栄養士による相談 相談者 16人 |
| 事前評価 | 必要性 | (分析・理由) |
| | A | A 高い B ↑ C ↓ D 低い ・情報が氾濫している現在、患者の生活向上につながる正しい情報を発信していく必要性は高い。 |
| 事前評価 | 行政関与の妥当性 | (分析・理由) |
| | B | A 高い B ↑ C ↓ D 低い ・正しい情報発信及び個々の状況に応じた相談の場を提供することは必要である。 |
| 事後評価 | 有効性 | (分析・理由) |
| | A | A 非常に有効 B やや有効 C あまり有効でない D 有効でない ・参加者の満足度が高い。(アンケート結果等より) ・個別相談の希望者が多い。 |
| 事後評価 | 効率性 | (分析・理由) |
| | C | A 単位当たり経費が前年比マイナス B 単位当たり経費が前年とほぼ同じ C 単位当たり経費が前年比プラス D 評価できない ・講演会参加人数の減少 原因として ・講演会における演題の選定 ・周知方法 |
| 今後の事業展開 | | |
| 規模 | | (分析・理由) |
| 現状 | 拡大・充実 現状のまま継続 縮小 廃止 | ・アンケート結果においては継続開催の要望が高い。 ・市民の健康を守るためにも正しい情報を伝える必要がある。 |
| 具体的な改善内容・事業の方向性等 | | |
| <p>・個別相談については個人情報の保護に充分留意した対応が必要です。 ・講演会については正しい情報をタイムリーに提供していく必要があります。</p> <p>問題意識 市内にはアレルギー患者等の相談、防災時における食物アレルギーに関する支援等幅広い活動を行っている団体があります。今後の事業展開については、これらの関係団体と共催し事業を実施することにより、アレルギー患者・家族等のより多くの参加者が見込まれ、安心・安全な生活を送ることができる人が増えることが期待できます。以上の観点から、事業の共催の可能性について検討したいと考えます。</p> <p>想定結果 市の実施が適当だが改善を要するもの</p> | | |
| (備考)事業に対する市民・市民活動団体・事業者・議会からの指摘 | | |